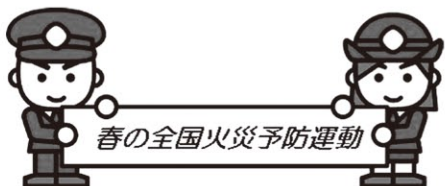


平成25年

春季全国火災予防運動の実施について

この運動は、火災が発生しやすい時季に、火災予防の知識を身につけ、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として実施します。



【実施期間】

3月1日（金）～3月7日（木）7日間

【平成24年度全国統一防火標語】

「消すまでは 出ない行かない 離れない」

火災に注意 火災のおこりやすい季節です！

昨年、笠間市では68件の火災が発生しました。まだまだ寒さが残り、家庭や職場でストーブ等の暖房器具など火を使用する機会が多くまた、空気が乾燥し、ちょっとした不注意から火災が発生しやすくなります。火の取扱いには十分注意し、火の用心を心掛けましょう。

◆家庭での対策

- ・外出時や寝る前には、必ず火の元を確認しましょう。
- ・暖房器具は定期的に点検しましょう。
- ・子どもの火遊びに注意しましょう。
- ・ガスコンロの周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。

◆放火対策

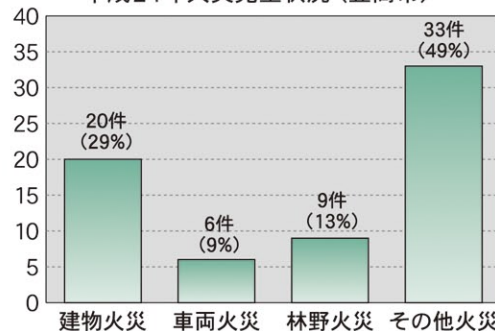
- ・家の周りに燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- ・外灯をつけるなどして、家の周りを明るくしておくようにしましょう。
- ・夜間にゴミ置き場にゴミがないように、ゴミは収集日の朝に出しましょう。

◆たき火

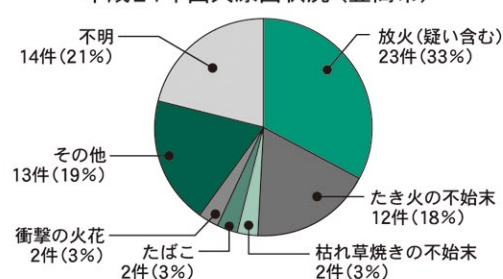
- ・屋外でのたき火などは風の強い日は避けましょう。
- ・消火器や水の入ったバケツなどを用意し、その場を離れないようにしましょう。

※野外での廃棄物（ごみ）焼却は、一部の例外を除き、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により禁止されています。

平成24年火災発生状況（笠間市）



平成24年出火原因状況（笠間市）



住宅防火 いのちを守る 7つのポイント



対策1／逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。



対策2／寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。



対策3／火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する。



対策4／お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



習慣1／寝たばこは、絶対やめる。



習慣2／ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。



習慣3／ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

住宅火災による犠牲者をなくすために

住宅火災による死者の大半が、逃げ遅れによるものです。火災の発生をいち早く知るために「住宅用火災警報器」を設置しましょう。

【問合せ】 笠間市消防本部予防課 TEL0296-72-0874

地震・火災・災害が起きた時の心構え（LPガス対応）

- 身の安全を確保してください。（玄関や勝手口、窓を開けて逃げ道を確保しましょう）
- 火の始末をしましょう。（ガスの器具栓、元栓および容器バルブを閉めてください）
- ガスを使用するときは、LPガスボンベ等が倒れていないことを確認してください。
- ガスメーターが自動的にガスを遮断している場合は、次の復帰方法でご使用できます。

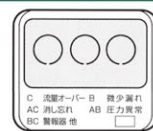
茨城県高圧ガス保安協会 笠間支部(LPG保安センター内)
☎0296-72-5084



- ・左側の復帰ボタンを押してください。
- ・「ガス止」の文字が消えます。



- ・液晶の文字とランプが点滅します。
- ・ガスを使用しないで1分間お待ちください。



- ・液晶の文字とランプが消えます。
- ・復帰完了です。
- ・ガスは使えます。

復帰しない場合は、販売店へ連絡してください。